

江戸で泣く。

# 江戸の

*The Nostalgic Images of Edo*

# 面影

浮世絵は

何を

描いてきたのか

2014年1月25日(土)~3月2日(日)

開館時間: 10:00~18:00(金・土曜日は20:00まで) \*入場受付は開館の30分前まで

休館日: 2月3日(月)および2月10日(月)

観覧料: 一般 1000円(800円)、大学生 700円(560円)

※小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※( )内は前売り、団体20名以上、市内にお住まいの65歳以上の方の料金

※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(1月19日まで)、およびローソンチケット(Lコード: 37849)。

セブンイレブン(セブンコード: 026-779)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(3月2日まで)にて販売。

ごひいき割引: 本展チケット(有料) 半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料2割引

主催: 千葉市美術館、東京新聞 企画協力: マンゴスティン

千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 Tel.043-221-2311(代) <http://www.ccma-net.jp>

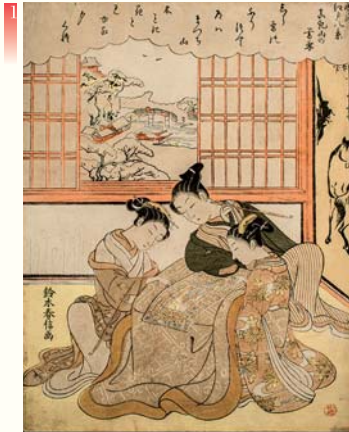


# 江戸の面影

The Nostalgic Images of Edo  
浮世絵は  
何を  
描いてきたのか

しかしながら、いまや私がいとしさを覚えはじめている国よ、  
この進歩はほんとうに進歩なのか？  
この文明はほんとうにお前のための文明なのか？ 〈中略〉  
おお、神よ、この幸福な情景がいまや終わりを迎えようとしており、  
西洋の人々が彼らの重大な悪徳を持ち込もうとしているように  
思われてならないのである。

ヘンリー・ヒューステン (1832-61) 『ヒューステン日本日記』 青木枝朗訳 岩波書店



太平の世——その繁栄を象徴するかのように江戸文化の中心に花開いた浮世絵は、流行風俗を描いて当時の人々の関心を引き、高度な木版画技法＝錦絵によって安価に広く普及しました。大衆を享受者に巻き込んだ、世界でも稀なこの芸術が、現代にまで生き生きと伝えてくれる江戸の姿を、我々はどうに理解すべきなのでしょう。

この展覧会は、幕末～明治初期に来日した外国人達の日本旅行記や、江戸時代の狂歌や随筆の中の言葉をきっかけに、浮世絵が表現してきた事象を丁寧に解き明かし、その理解を深めようとするものです。歌舞伎、遊里、岡場所の芸者、江戸名所、娘たちのおしゃれなど、浮世絵は江戸という特別な都市に育まれた美意識や文化を余すところなく伝え、今では失われつつある日本の美德のありかを思い起こさせてくれようとしているようです。江戸時代中・後期の優品約250点を通して、浮世絵が描いてきた江戸の美の本質に迫ります。

※ 会期中に一部展示替があります。



- 1. 鈴木春信「風流江戸八景 真乳山暮雪」中判錦絵 明和5年(1768)頃 個人蔵
- 2. 鳥居清長「当世遊里美人合 多通美」大判錦絵 天明(1781-89)前期 個人蔵
- 3. 喜多川歌麿「鞠と扇を持つ美人」大判錦絵 寛政3-9年(1796-97)頃 千葉市美術館蔵
- 4. 歌川広重「名所江戸百景 两国花火」大判錦絵 安政5年(1858) 東京藝術大学蔵 (展示期間:1月25日～2月16日)
- 5. 烏文斎栄之 重要文化財「青楼芸者撰 いつとも」大判錦絵3枚続のうち 寛政(1789-1801)中期 東京国立博物館蔵 (展示期間:2月4日～3月2日) Image:TNM Image Archives
- 6. 歌川国貞「七代目市川團十郎の矢の根五郎」絵馬一面 文政8年(1825) 成田山雲光館蔵

## 千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8  
Tel.043-221-2311(代)  
Fax.043-221-2316  
http://www.ccma-net.jp



### 【交通案内】

- JR千葉駅東口より／徒歩約15分／バスのりば7より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分
- 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- 東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く＊千葉市中央区役所と同じ建物です。
- ＊地下に区役所と共用の機械式駐車場がありますが、混雑時はご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。

### > 関連企画

講演会「浮世絵黄金期の諸相」(事前申込制)  
2月8日(土) 14:00～(13:30開場) 11階講堂にて  
講師:内藤正人(慶應義塾大学教授)  
定員:150名 聴講無料  
【申込方法】往復はがきに郵便番号、住所、電話番号、氏名、イベント名、参加人数(2名までお申込可)を明記の上、下記までお申し込みください。  
＊申込締切1月29日(水)【必着】  
＊1人1通まで、応募多数の場合は抽選となります。  
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 イベント係

### > 特別企画

「結うころと美——江戸娘髪結いの実演」  
2月16日(日) 14:00～15:30(13:30開場) 11階講堂にて  
解説:村田孝子(ポーラ文化研究所)  
結髪師:林照乃  
「錦絵摺の実演」  
2月23日(日) 14:00～15:30(13:30開場) 11階講堂にて  
解説・実演:公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団  
＊いずれも観覧無料、会場の出入りは自由です(混雑状況によって入場を制限する場合がございます)。

### > ギャラリートーク

担当学芸員による:1月29日(水) 14:00～  
ボランティアスタッフによる:会期中の毎週水曜日(1月29日を除く) ＊水曜日以外の平日14:00～にも開催することがあります。＊混雑時は中止する場合があります。

### > 美術館ボランティアスタッフによる多色摺ワークショップ

1月25日(土) 10:30～12:00、13:30～15:00  
1階エントランスにて 参加無料

### > 市民美術講座

「江戸芸者と辰巳芸者」  
2月15日(土) 14:00～(13:30開場) 11階講堂にて  
講師:田辺昌子(当館学芸課長)

### 「画人たちの1万時間——狩野派・琳派の新資料紹介——」

2月22日(土) 14:00～(13:30開場) 11階講堂にて  
講師:松尾知子(当館学芸員)  
各先着150名 聴講無料

### > 同時開催

所蔵作品展「画人たちの1万時間～写生、下絵、粉本類を中心に～」  
＊「江戸の面影」展をご観覧の方は無料

### > 次回展予告

「第45回記念 千葉市民美術展覧会」  
会期:3月8日(土)～3月28日(金)

「光琳を慕う——中村芳中」  
会期:4月8日(火)～5月11日(日)

